

少年消防クラブ活動事例集

〈活動事例DVD付〉



少年消防クラブ活性化推進会議

目 次

少年消防クラブの一層の情報交流を.....	3
少年消防クラブ活性化推進会議委員長 秋本敏文	
少年消防クラブの活性化に向けて.....	4
総務省消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室長 中野祐介	
文部科学省の防災教育に関する取組と少年消防クラブの活性化について.....	5
文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課長 和田勝行	

少年消防クラブの活動事例

北海道北見市太陽わらべ太鼓少年消防クラブ.....	8
北海道札幌市西町少年消防クラブ.....	10
岩手県葛巻町小屋瀬少年消防クラブ.....	12
宮城県気仙沼市立階上中学校少年消防クラブ.....	14
宮城県南三陸町立歌津中学校少年消防クラブ.....	16
埼玉県三郷市少年消防クラブ.....	18
埼玉県吉川松伏少年消防クラブ.....	20
千葉県浦安市少年消防団.....	22
神奈川県川崎市高津ジュニアハイスクール消防隊.....	24
神奈川県大和市少年消防団.....	26
愛知県豊田市竜神中学校少年消防クラブ.....	28
徳島県阿波市土成中学校少年少女消防隊.....	30
高知県黒潮町上川口少年消防クラブ.....	32
福岡県新宮町相島少年消防クラブ.....	34

有識者、少年消防クラブ指導者の助言等

鈴木 幸平 少年消防クラブ活性化推進委員会専門委員.....	38
長谷川祐子 少年消防クラブ活性化推進委員会専門委員.....	39
小林 環 札幌市富丘少年消防クラブ.....	42
中山 優彦 岩手県葛巻町小屋瀬少年消防クラブ.....	43

及川 敦	宮城県南三陸町立歌津中学校少年クラブ	44
五十嵐 敦	埼玉県三郷市少年消防クラブ	45
馬部純一郎	東京都調布市調布消防少年団	46
杉浦 友香	愛知県豊田市竜神中学校少年消防クラブ	47
白澤 徳教	福岡県新宮町相島少年消防クラブ	49
江口 正弘	長崎県壱岐市山崎少年消防クラブ	51

少年消防クラブ交流会（全国大会）

少年消防クラブ交流会（全国大会）について	54
少年消防クラブ交流会（全国大会）が初開催	59
少年消防クラブ交流会（全国大会）を宮城県南三陸町で開催	62

青少年消防オリンピック

青年消防オリンピックについて	66
第20回ヨーロッパ青少年消防オリンピックに出場	69

優良少年消防クラブ・指導者表彰（フレンドシップ）

優良少年消防クラブ・指導者表彰（フレンドシップ）について	74
平成27年度優良少年消防クラブ・指導者表彰（フレンドシップ）の開催	75
最近の表彰クラブ等	78

少年消防クラブの一層の情報交流を



少年消防クラブ活性化推進会議
委員長 秋本 敏文

(公益財団法人 日本消防協会会長)
一般財団法人 日本防火・防災協会会長

我が国の少年消防クラブは、昭和 25 年の国の通知によってスタートしたのですが、実はそれより前から、町内の子供会などで「火の用心」の夜まわりなどをしていたと思います。そのような伝統の中から形が整えられたのだと思いますが、スタート時のその活動内容は、国の通知にありますように、もっぱら火災予防、「火の用心」でした。

今はどうですか。消防活動全体が拡大し、大きく変わってきました。火災への対応は勿論今も重要ですが、救急救助、防災全般へと拡がりました。少年消防クラブの活動もそれぞれ変わり、発展しています。少年消防クラブは、地域の将来の安全を守る人づくりが大事な目的ですし、場合によれば年長のメンバーは実戦力になることもある位ですから、これは当然です。そうなりますと、全国の少年消防クラブは、それぞれどのような活動をしているのかがお互いに気になりますし、全国の情報交流は、一層の活動活発化にとって大事です。私たちはこのことを意識していろいろとやってきました。

近年の最初の大きな事業は、平成 21 年のヨーロッパ青少年消防オリンピックへの初参加でした。隔年にヨーロッパ各国の少年消防クラブメンバーが集まるこのイベントに、日本のメンバーを 20 人初めて派遣したのです。そこから外国の動きも視野に入れながら、我が国に少年消防クラブ活性化推進会議を設け、その委員の皆さんと相談しながら全国の少年消防クラブの交流会を始めました。また、各地の活動状況を全国に伝えるため、機関紙少年消防クラブニュースを創刊しました。このニュースは、今は防災に関する総合情報誌「地域防災」にひきつがれていますし、ヨーロッパ大会へは平成 29 年もオーストリア大会に派遣します。大会参加は、各国の少年たちとの交流の機会になり、そこで情報交流もできます。

このようにいろいろやっていますが、今回初めて、全国少年消防クラブの活動事例集をとりまとめました。文章、写真による各クラブからの事例報告のほか、各クラブの指導者の方などに撮影して頂いた動画も加えました。これによってそれぞれのクラブの皆さんがさまざまな活動しておられる様子を知ることが、これからの皆さんの一層の活動活発化のお役に立つと思います。是非ご活用頂きたいと思います。

最後になりましたが、この事例集作成にご協力頂いた各クラブの皆さんにお礼を申し上げます。ありがとうございました。

全国の少年消防クラブの皆さんの益々のお元気なご活動を願っています。

少年消防クラブの活性化に向けて



総務省消防庁国民保護・防災部防災課
地域防災室長 中野 祐介

少年消防クラブは、平成 28 年 5 月 1 日現在、全国で約 4,500 のクラブが組織され、約 41 万人のクラブ員が防火・防災について学び、行動し、それぞれの地域における防災力の充実強化に寄与しています。また、約 14,000 名の指導者の方々がクラブ員に対して熱心な指導を行っているところです。関係各位のご尽力に対し、心から敬意を表する次第です。

我が国は毎年、台風、大雨、地震、火山噴火など様々な災害に襲われています。昨年、4 月に発生した熊本地震をはじめ、8 月は台風第 10 号等による大雨被害、10 月の鳥取県中部を震源とする地震、12 月には新潟県糸魚川市の大規模火災など、全国各地で様々な災害が発生しました。

また、近い将来、南海トラフ地震や首都直下地震などの大規模災害の発生も懸念されることから「防災教育」の重要性が強調されるようになりました。

このような中、平成 25 年 12 月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立し、これまで以上に地域防災力の充実強化を図ることの必要性が認識されるとともに、地域防災を担う様々な主体の一つとして、少年消防クラブが初めて法律で明記されたところで

す。

少年消防クラブの活動は、子どもたちが防火・防災について学ぶ貴重な機会であるとともに、将来の地域防災を担う人材の育成につながるものであることから、少年消防クラブに対する期待は、ますます高まっています。

消防庁では、これまでも、少年消防クラブの育成発展に寄与することを目的に「優良少年消防クラブ・指導者表彰（フレンドシップ）」を行っているところですが、平成 24 年度からは、消防の実践的な活動を取り入れた合同訓練等を通じて、他の地域のクラブ員と親交を深める「少年消防クラブ交流会」を、日本防火・防災協会及び日本消防協会等のご協力を得て開催しているところであり、平成 29 年度においては徳島県で開催する予定です。

今後とも関係各位のご協力をいただきながら、法律の趣旨を踏まえ、また、交流会等の実施を通じて、少年消防クラブのさらなる活性化を図ってまいります。

文部科学省の防災教育に関する取組と 少年消防クラブの活性化について



文部科学省初等中等教育局
健康教育・食育課長 和田 勝行

今回ここに、「少年消防クラブ活性化事例集」が発刊されますことを心よりお喜び申し上げます。

また、全国の少年消防クラブの参加者及び指導者の方々におかれては、日頃より防災活動に積極的に御尽力いただき、感謝申し上げます。

平成23年3月に発生した東日本大震災以降、大規模な地震が連続していることや、大雨に伴う土砂災害や大規模水害など、多くの自然災害が発生しております。また、近年では、これまで災害経験が少なかった地域でも災害が発生し、被害をもたらしている例があることから、改めて、防災を含めた安全教育や防災体制の更なる強化・充実を推進していくことが重要です。

次期学習指導要領におきましても、防災を含めた安全教育は、社会科や理科を中心に、特別活動なども含め、様々な教科等横断的に取り組み、充実を図ることとされております。

子供たちへの安全教育は、生涯にわたる安全に関する資質・能力の基盤を培うものであることに加え、安全に関する資質・能力を身に付けた子供たちが社会人となり、様々な場面で活躍することを通じて、社会全体の安全意識の向上や安全で安心な社会づくりに寄与することも期待されます。

子供たちが幼いころから少年消防クラブにおいて、防災に関する知識を学ぶことで、将来の防災リーダーとなり、ひいては地域の防災力の強化につながることを期待されております。

文部科学省としても、各学校における安全に係る取組を総合的かつ効果的に推進するため、「第2次学校安全の推進に関する計画」を策定したところです。同計画では、学校における安全管理の充実、系統的・体系的な安全教育の推進等、学校安全に関する取組について、施策目標や具体的な推進方策を定めています。

学校における安全教育をより一層充実したものにするためには、関係機関の連携・協働が不可欠であり、少年消防クラブの活動は、学校や地域における防災リーダーとしての活躍につながるのみならず、学校・家庭・地域・関係機関の連携・協働にも資することができるものと思われれます。

本事例集が広く全国の関係の方々に周知されることで、情報共有や連携が進み、少年消防クラブの取組がますます活性化されますことを期待しております。